



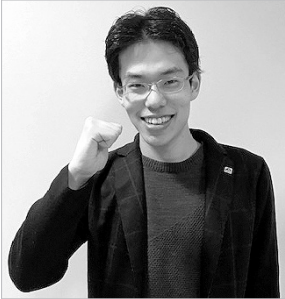
My SUCCESS POINT

新聞なども参考にして
多角的に理解

2019年度 第1回CFP®資格審査試験

6月 9日(日)
6月16日(日)

詳細は協会ホームページ
(<https://www.jafp.or.jp/>)
をご覧ください



うまこし やすゆき
馬越 康如さん

金沢工業大学
情報フロンティア学部
(石川県)

2017年 6月 「不動産運用設計」
「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」合格
11月 「金融資産運用設計」
「リスクと保険」
「相続・事業承継設計」合格
2018年 6月 「タックスプランニング」合格
2019年 2月 CFP®資格認定

理系の大学生らしく、分析と改善で
一歩一歩知識を積み上げ

大学の課題と試験勉強を並行して

理系の私がFP資格を取得するきっかけになったのは、大学1年のとき証券会社出身のある教授からFP資格について聞いたことでした。教授にはまず3級FP技能検定を受けるよう勧められました。勉強を始めると、「この資格は実生活で役に立つ」と実感し、3級合格と同時に2級の勉強に取りかかりました。2級も無事合格し、AFP認定者になったのですが、続いてCFP®資格に興味湧き、挑戦を決めました。

私は学生で実務経験がまったくないこともあり、父からのアドバイスもあって資格学校の通信講座で勉強を始めました。大学は課題提出が多いのですが、その課題と試験勉強を両立するために朝5時に起き、大学の学食で朝6時から授業が始まる8時30分まで、パソコンで講座を視聴し、問題集を繰り返し解きました。1時間のお昼休みには過去問題集を解き、授業が終わると大学の課題をまず終わらせ、空いた時間に試験勉強、という毎を送りました。長期休暇は1日10時間ぐらいたった試験勉強にあてました。不足していた金融の知識は日本経済新聞を読み補いました。特に土曜日に掲載される「生活設計と資産運用 基本がわかるM&I」という欄は試験でも役立つ知識が整理されており、参考になりました。

資格学校のアドバイスもあり、私は6課目すべて同時に勉強し、受験しました。体調を崩したときもありましたが、必ず将来のためになると信じ、根性でやりきった感じです。残念ながら不合格になってしまった課目も次に受験するときには、かなり頭に入っていて勉強がはかどりました。勉強期間中に「プロフェッショナルFP研修」も受け、知識を実践でどう活かしているかを知ることができたのも、改めて発奮する機会になりました。

苦勞した課目は、「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」と「タ

ックスプランニング」です。苦手な社会保険と年金についてはひたすら講義を聞いて問題集を解く一方、市役所などにある社会保険や年金のパンフレットを見ることで基礎知識を整理し、体系的に理解することを心がけました。

「タックスプランニング」は、一番好きな課目でしたが、最後まで残りました。その理由が、①「計算量が多いために時間配分を誤った」、②「所得税の計算順序の理解が不十分」、③「税金関係の勉強が不十分」だと分析しました。①は時間との競争なので、1問を2分以内に解くことを心がけました。②は特に「1/2」にするタイミングなど細かい点を押さえ、流れをつかむようにしました。③については所得税の事業所得、譲渡所得の総合課税、法人税、消費税などを重点的に勉強しました。

私にとってのゴールは全課目合格ではなく、大学在学中にCFP®認定者になることでした。そのためみなし実務研修*を受け、先日晴れてCFP®認定者になりました。人生100年時代であるからこそ、先が長い私たちの世代にはFP資格、とりわけCFP®資格は役立つ資格だと思っています。時間のある学生の間にはFP資格を取得しておくことをお勧めします。

私は今年、金融機関や不動産会社を目指して就職活動に挑みます。そして改めてCFP®認定者になってよかった、と思えるような結果を残したいと思います。

*受講・修了で「みなし実務経験」となります

体験談登壇者募集!!

CFP®試験の合格体験エピソード、勉強法などをお寄せください。①会員番号(必須) ②氏名③昼間の電話ご連絡先④ご自身の体験(形式は自由)を明記のうえ、Eメールにてご応募ください。採用の方には、編集出版課よりあらためてご連絡いたします(追加取材をさせていただく場合がございます)。なお、採否のお問い合わせにはお答えしかねます。悪しからずご了承ください。

体験談送付先 ⇒ journal@jafp.or.jp
件名は「合格体験談」係